

生命医科学部 医情報学科
アドミッション・ポリシー（外国人留学生を対象とする入学試験）

医情報学科では、医療、福祉、健康など「生命」に関連する幅広いフィールドで、医学および医情報学の複眼的視点から創意工夫をもって課題解決へと導くことのできる技術者、研究者を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

医情報学科の求める学生像

知識・技能

生命医科学に関連する基礎医学や生体情報の取得・制御と、生体情報処理機構の情報システム構築への展開に関する知識を得るために必要な、自然科学の基礎学力やヒトを主体とする情報利用に関する技術を身につけるために必要な基礎的な知識・技能を有する学生を求めています。

思考力・判断力・表現力

日本語および英語の基本的な読解能力と表現能力を有し、論理的思考能力と、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたいと希望する学生を求めています。

主体性・多様性・協働性

生命医科学に関する様々な問題について幅広い関心と向上心を持ち、自ら課題を発見し、解決する能力を習得したいと希望する学生を求めています。また、これらを協働して行うことを目指す学生を求めています。国際社会に通用する技術者、研究者となることを希求する学生を求めています。

大学入学までの学習で身につけてほしいこと

グローバル化が進展する社会において世界を舞台に活躍するためには、国際社会の中で多様な文化、価値観を尊重し、他者と相互にコミュニケーションを図りながら、自分の考えを積極的に主張することができる真の国際人としての素養が不可欠です。そのためには、自国の歴史や文化に対する正しい理解、医情報学科での専門性を身につけるために必要な日本語、英語等の外国語運用能力、幅広い教養、柔軟な論理的思考力を育成するために必要な基礎学力、医情報学に対する興味・関心、学習意欲を備えておくことが望ましいでしょう。

入学者選抜制度

学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）＜第1年次＞

出願書類（日本留学試験の成績、英語能力を証明する書類、志望理由書）を通して、医情

報学科で学ぶために必要な一定水準以上の「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」、
「主体性・多様性・協働性」が備わっているかどうかを評価しています。とりわけ、特に
志望理由書から、医情報学科で学びたいという高い意欲をもっているかどうかを判断し
て、総合的に審査しています。

外国人留学生海外指定校推薦入学試験

これまでの外国での学校教育を通じて培われた基礎学力、「知識・技能」、「思考力・判断
力・表現力」等を備え、かつ医情報学科で学ぶ高い意欲を持つ優れた外国人留学生を受け
入れるために、学校長の推薦に基づき、出願書類では一定水準以上の「知識・技能」及び
医情報学科で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」及び日本語能力が備わってい
るか、口頭試問では「主体性・多様性・協働性」が備わっているかなどを適正に評価して
います。とりわけ、本入試においては、入学後の勉学における明確な志向及び意欲の評価
に重点を置き、総合的に審査しています。